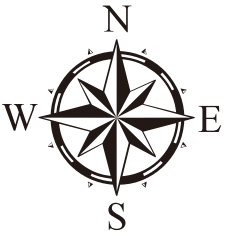


2012年九州北部豪雨災害における阿蘇周辺の土砂移動痕跡判読

2012年7月16日時点





パスコでは天候の回復を待って、7月15日に航空機による斜め撮影を実施し、併せて、翌16日の午前高分解能光学衛星「Pleiades」による撮影を実施しました。
この図の背景には、被災前に撮影した人工衛星データ PASCOSatellite Ortho (PSO)を使用しています。
判読した範囲は図中のコントラストが高い範囲で、黄色で囲われている部分が今回の豪雨で新たに土砂移動が発生したと思われる範囲です。

判読に使用した資料

- 15日撮影 航空写真
- 16日撮影 光学人工衛星

凡例

-  主な判読範囲
-  土砂移動痕跡

※ 撮影時点の情報に基づき、判読をしています。
※ 被災した全範囲を抽出したものではありません。

